

2010年3月期 決算説明会

2010年5月14日

株式会社 藤商事



証券コード 6257

2010年3月期 決算説明会

1. 2010年3月期 決算概要
2. 当社の取り組みと今後の課題
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し
4. 2011年3月期 通期業績計画

1. 2010年3月期 決算概要

決算ハイライト① 2010年3月期 発売機種

パチンコ遊技機

パチスロ遊技機



CRレーザーシャトル
(4月発売)



CRサンダーバード
国際救助隊発進!
(5月発売)



CR桃太郎
天に代わって鬼退治致す!
(7月発売)



CR相川七瀬 時空の翼
(9月発売)



COBRA - THE SLOT -
(5月発売)



CRダイ・ハード
(10月発売)



CR新暴れん坊将軍
吉宗危機一髪
(12月発売)



CRアレ!キング
(2010年1月発売)



CR宇宙戦艦ヤマト3
(2月発売)



パチスロ エイリアンVSプレデター
(10月発売)

マークの付いているパチンコ遊技機は、手軽に安く遊べるタイプを含みます

ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して!

決算ハイライト② 販売台数 対前期比較



(販売台数は千台未満切捨て)

販売台数	2009年3月期		2010年3月期		対前年同期比
	販売台数	構成比	販売台数	構成比	
パチンコ遊技機	194千台	97.0%	156千台	99.4%	△37千台
パチスロ遊技機	5千台	3.0%	1千台	0.6%	△4千台
計	200千台	100.0%	157千台	100.0%	△42千台

内 訳	2009年3月期		2010年3月期	
	機 種 名	販売台数	機 種 名	販売台数
パチンコ 遊技機	CR鞍馬天狗	15千台	CRレーザーシャトル	19千台
	CRジュラシックパークMAX	33千台	CRサンダーバード 国際救助隊発進!	10千台
	CR暴れん坊将軍3	70千台	CR桃太郎侍 天に代わって鬼退治致す!	28千台
	CRテリーテューンズマイティマウス	3千台	CR相川七瀬 時空の翼	20千台
	CRゴースト ニューヨークの幻	42千台	CRダイ・ハード	4千台
	CR宇宙戦艦ヤマト2	27千台	CR新暴れん坊将軍 吉宗危機一髪!	36千台
	その他(前期発売機種)	1千台	CRアレ!キング	7千台
			CR宇宙戦艦ヤマト3	21千台
			その他(前期発売機種)	7千台
	合 計	194千台	合 計	156千台
パチスロ 遊技機	パチスロ アカギ	5千台	COBRA - THE SLOT -	0.8千台
			パチスロ エイリアンVSプレデター	0.3千台
	合 計	5千台	合 計	1千台

決算ハイライト③ 損益計算書



対前年同期比較

単位：百万円、%

	2009年3月期		2010年3月期		構成比増減	備 考
	金 額	構成比	金 額	構成比		
売上高	56,839	100.0	46,186	100.0	-	売上高（前期比△10,653百万円） 販売台数の減少 前期 200千台 当期 157千台 各利益率の低下 主に販売台数の減少にともなう 減収・減益の影響による
売上原価	33,651	59.2	27,593	59.7	+0.5	
売上総利益	23,188	40.8	18,592	40.3	△0.5	
販管費	15,033	26.5	13,934	30.2	+3.7	
営業利益	8,155	14.4	4,657	10.1	△4.3	
営業外収益	174	0.3	222	0.5	+0.2	
営業外費用	87	0.2	322	0.7	+0.5	
経常利益	8,242	14.5	4,558	9.9	△4.6	
特別利益	30	0.1	61	0.1	-	
特別損失	21	0.0	50	0.1	+0.1	
税前純利益	8,252	14.5	4,568	9.9	△4.6	
税金費用	3,175	5.6	2,235	4.8	△0.8	
当期純利益	5,076	8.9	2,333	5.1	△3.8	

決算ハイライト④ 貸借対照表



前期末 対 当期末比較

単位：百万円、%

	2009年3月期末		2010年3月期末		金額増減	備 考		
	金額	構成比	金額	構成比				
流動資産	41,307	73.9	42,755	75.1	+1,448	流動資産		
現金及び預金・有価証券	28,292	50.6	28,102	49.4	△190	現金預金	前期末 26,190	当期末 26,398
商品及び製品	123	0.2	68	0.1	△55	有価証券	2,101	1,704
売上債権	6,943	12.4	8,324	14.6	+1,381	計	28,292	28,102
その他	5,946	10.6	6,259	11.0	+313			
固定資産	14,559	26.1	14,145	24.9	△414	流動比率	前期末 330%	当期末 347%
有形固定資産	9,417	16.9	8,575	15.1	△842	当座比率	281%	295%
その他	5,141	9.2	5,569	9.8	+428			
資産合計	55,866	100.0	56,900	100.0	+1,034			
流動負債	12,512	22.4	12,312	21.6	△200	流動負債		
仕入債務	6,978	12.5	8,280	14.6	+1,302	仕入債務の増加		
その他	5,533	9.9	4,031	7.1	△1,502	未払法人税等、未払消費税等の減少		
固定負債	1,391	2.5	1,492	2.6	+101			
負債合計	13,903	24.9	13,804	24.3	△99	ROE	前期末 12.7%	当期末 5.5%
純資産合計	41,962	75.1	43,096	75.7	+1,134			

決算ハイライト⑤ キャッシュ・フロー計算書比較



前期末 対 当期末比較

単位：百万円

	2009年3月期末	2010年3月期末	金額増減	2010年3月期末の内訳						
営業活動による キャッシュ・フロー	9,860	3,449	△6,411	税引前純利益 4,568百万円 減価償却費 2,935百万円						
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,890	△2,031	1,859	有価証券取得・償還 222百万円 有形固定資産取得 △2,201百万円						
フリー キャッシュ・フロー	5,970	1,418	△4,552	有価証券取得・償還分を加味した場合、 2010年3月期末のFCFは1,196百万円						
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,082	△1,209	△127	配当金の支払による減少						
現金及び現金同等物の 増減額	4,887	208	△4,679	<table> <tr> <td></td> <td>前期</td> <td>当期</td> </tr> <tr> <td>自己資本比率</td> <td>75.1%</td> <td>75.7%</td> </tr> </table>		前期	当期	自己資本比率	75.1%	75.7%
	前期	当期								
自己資本比率	75.1%	75.7%								
現金及び現金同等物の 期首残高	21,303	26,190	4,887							
現金及び現金同等物の 期末残高	26,190	26,398	208							

決算ハイライト⑥ 通期業績修正について



単位:百万円、%

	当初計画		2010年3月12日 発表		実績		備考
パチンコ遊技機	200,000台		156,000台		156,545台		下記4機種の販売不振による
パチスロ遊技機	6,000台		1,000台		1,170台		発売機種数 計画3機種 実績2機種
売上高	57,600	100.0	46,000	100.0	46,186	100.0	①下半期販売機種の販売不振 CRダイ・ハード CR新暴れん坊将軍 吉宗危機一髪！ CRアレ！キング CR宇宙戦艦ヤマト3 競合が激化し、1機種当たりの 販売台数が減少 ②利益率の低下 販売台数の減少が主な要因
営業利益	8,300	14.4	4,500	9.8	4,657	10.1	
経常利益	8,400	14.6	4,400	9.6	4,558	9.9	
当期純利益	5,200	9.0	2,500	5.4	2,333	5.1	
1株当たり 当期純利益	20,395円	—	9,805円	—	9,152円	—	

2. 当社の取り組みと今後の課題

①安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立

- ・業界初の「ラッキーパト」を搭載した
新本体枠「クリスタル・ファイヤー」を市場投入
⇒ 高品質を維持しつつ、「ラッキーパト」による新たな演出を展開

②「ヒト味違う」発想による商品力の向上

- ・「CR相川七瀬 時空の翼」
⇒ 斬新なスペックによる爽快な出玉感を演出

③業績計画の着実な達成

- ・販売台数の未達成による業績修正（主要タイトルでの作り込み不足）
⇒ 企画部門、開発部門の体制再構築
⇒ 稼働力に特化した取り組みを強化

①稼働力の向上

- ・ 長期間の稼働を実現する要素の追求（著作権・演出・ゲーム構成など）
- ・ 豊かなゲーム性を実現する新機能、アイデアへの継続的な取り組み
- ・ 幅広いファン層に対応したスペックの充実
 - ⇒ 多様化するファンのニーズを満たし、安定した稼働力を備えた遊技機を開発

②利益計画の着実な達成

- a) 販売計画の達成 ⇒ 販売戦略、プロモーション戦略の再構築
- b) 収益力の強化 ⇒ 研究開発費、広告宣伝費などへの資源の最適配分
- c) 材料ロスの低減 ⇒ 部材管理システムの確立

パチンコ遊技機事業 **発売予定機種数 7機種** **販売台数計画 14万3千台**

- ①「お客様目線」での機種開発による、稼働力の向上
- ②機種別の目標販売台数の着実な達成
- ③効果的なタイミングでの新機種の市場投入

パチスロ遊技機事業 **発売予定機種数 2機種** **販売台数計画 3千台**

- ・ 厳しい市場環境をふまえた機種開発、販売戦略の推進

3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

パチンコ・パチスロ市場の推移

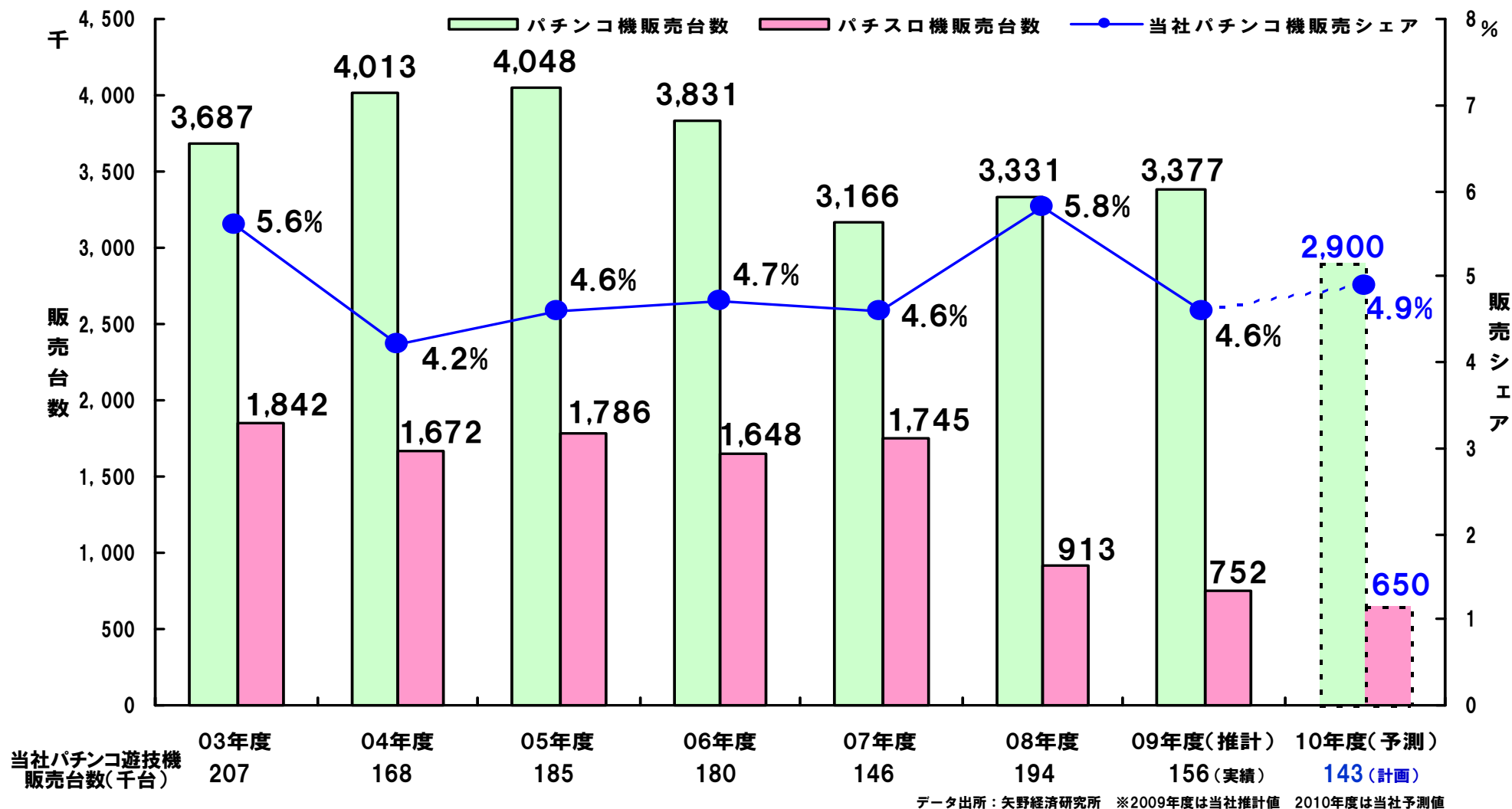


項 目		2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
参加人口（万人）		1,790	1,710	1,660	1,450	1,580	—
貸玉料（兆円）		29.4	28.7	27.4	22.9	21.7	—
ホール軒数（軒）	パチンコ機 設置店	13,844	13,163	12,588	12,039	11,800	11,722
	パチスロ機等 専門店	1,773	2,002	2,086	1,546	1,137	930
	合 計	15,617	15,165	14,674	13,585	12,937	12,652
設置台数（千台）	パチンコ （アレンジ含む）	3,082	2,963	2,934	2,955	3,077	3,130
	パチスロ	1,887	1,936	2,003	1,636	1,449	1,337
販売台数（千台）	パチンコ	4,013	4,048	3,831	3,166	3,331	3,377 （当社推計）
	パチスロ	1,672	1,786	1,648	1,744	913	752 （当社推計）

出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・社会経済生産性本部『レジャー白書』（参加人口・貸玉料）・矢野経済研究所『パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア』（販売台数）

遊技機市場の販売台数推移

遊技機の市場販売台数と当社パチンコ販売台数シェアの推移（2003年度～2010年度）



4. 2011年3月期 通期業績計画

2011年3月期 通期業績計画



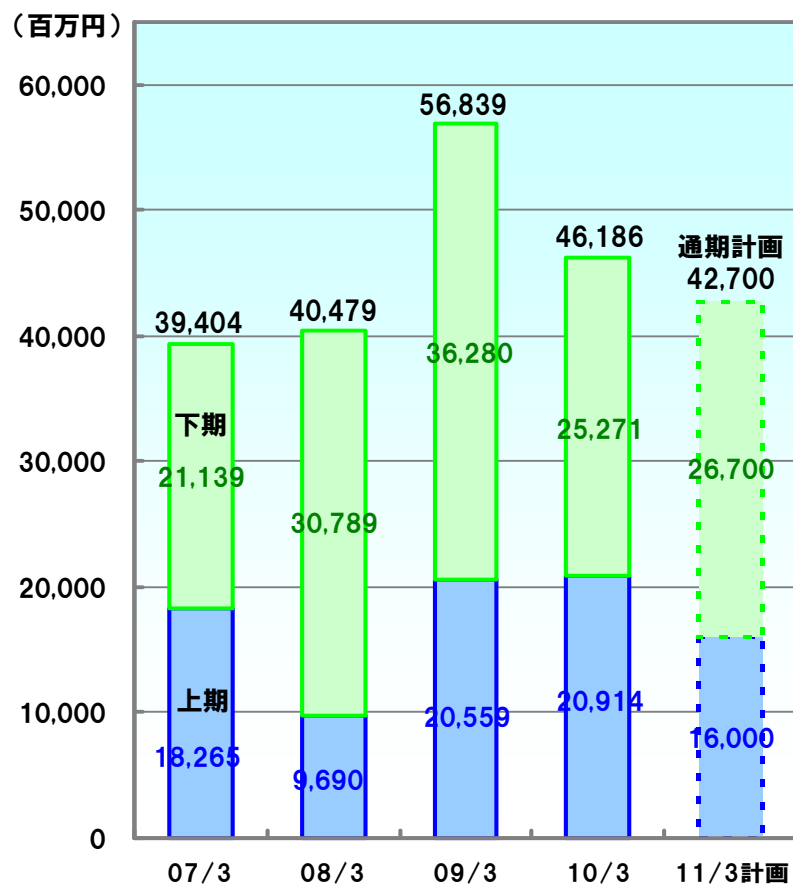
単位：百万円 販売台数は千台未満切捨て

項目	2010年3月期 実績		2011年3月期 計画		対前期比 増減
	発売機種数・販売台数	10機種	157千台	9機種	
パチンコ	8機種	156千台	7機種	143千台	△13千台
パチスロ	2機種	1千台	2機種	3千台	+2千台
売上高	46,186	100.0%	42,700	100.0%	△3,486
営業利益	4,657	10.1%	4,800	11.2	+143
経常利益	4,558	9.9%	4,900	11.5	+342
当期純利益	2,333	5.1%	3,000	7.0	+667
1株当たり当期純利益	9,152円		11,766円		+2,614円
1株当たり配当金	4,500円		4,500円		-
配当性向	49.2%		38.2%		△11.0P

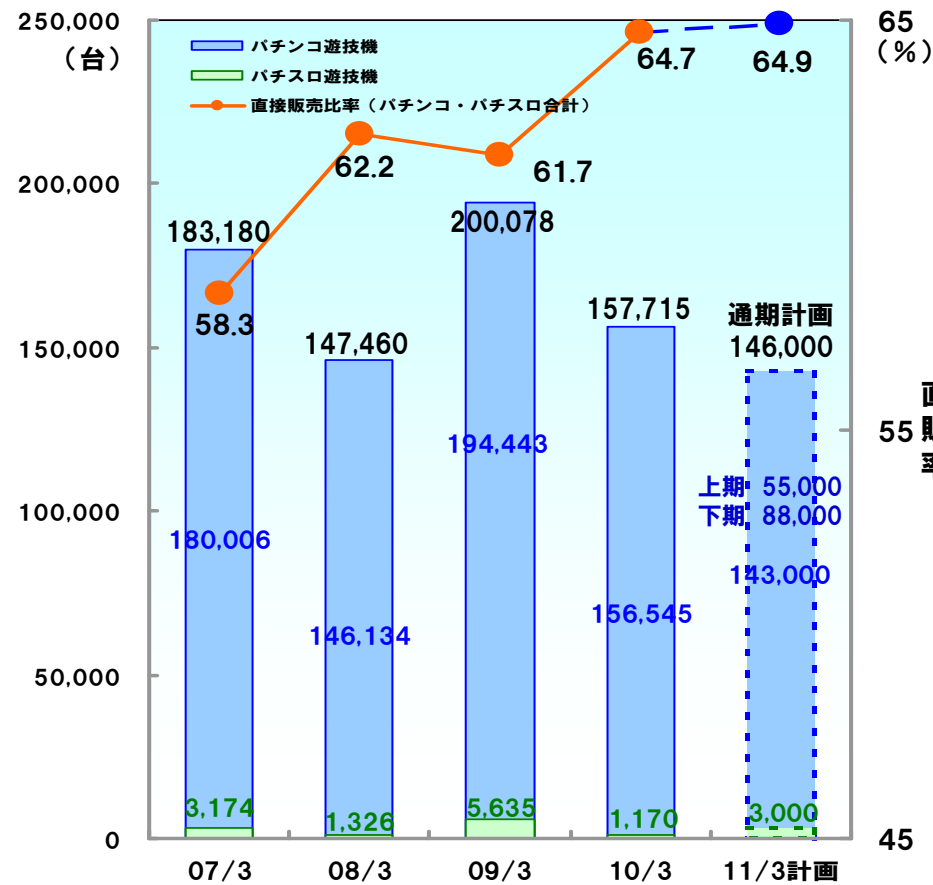
業績推移① 売上高・販売台数等



売上高



販売台数・直接販売比率

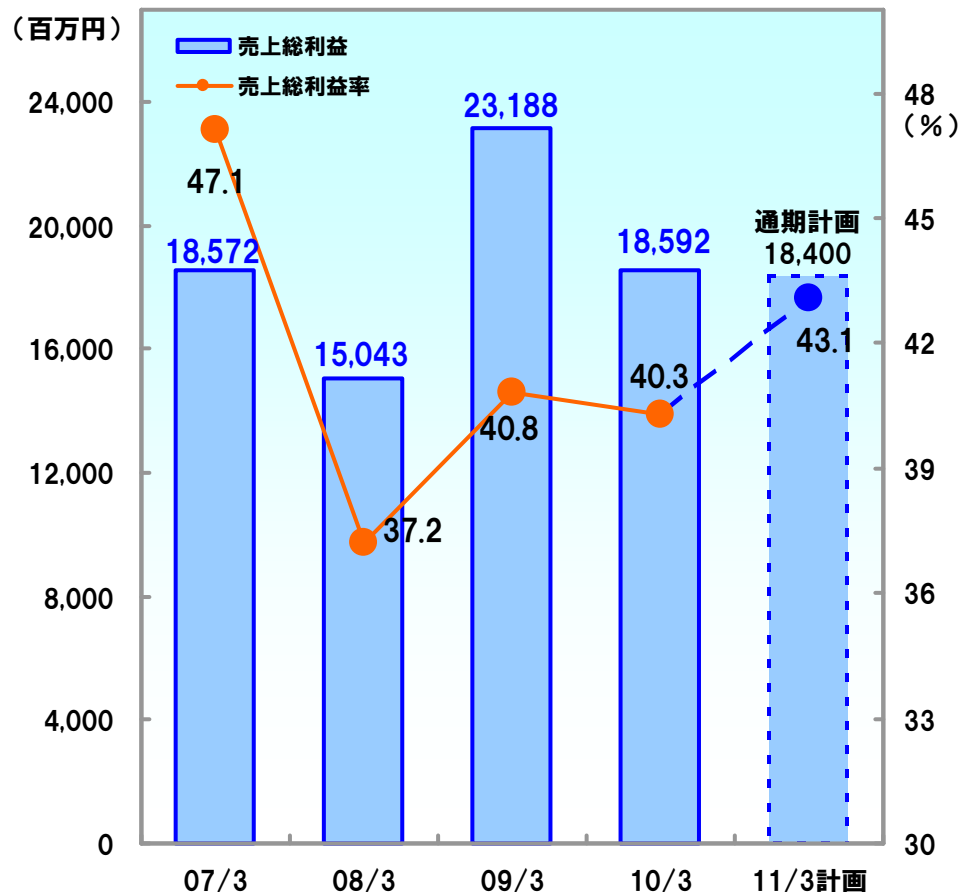


パチンコ遊技機	8	7	6	8	7
パチスロ遊技機	2	1	1	2	2
投入機種数計	10	8	7	10	9

業績推移② 売上総利益・販管費

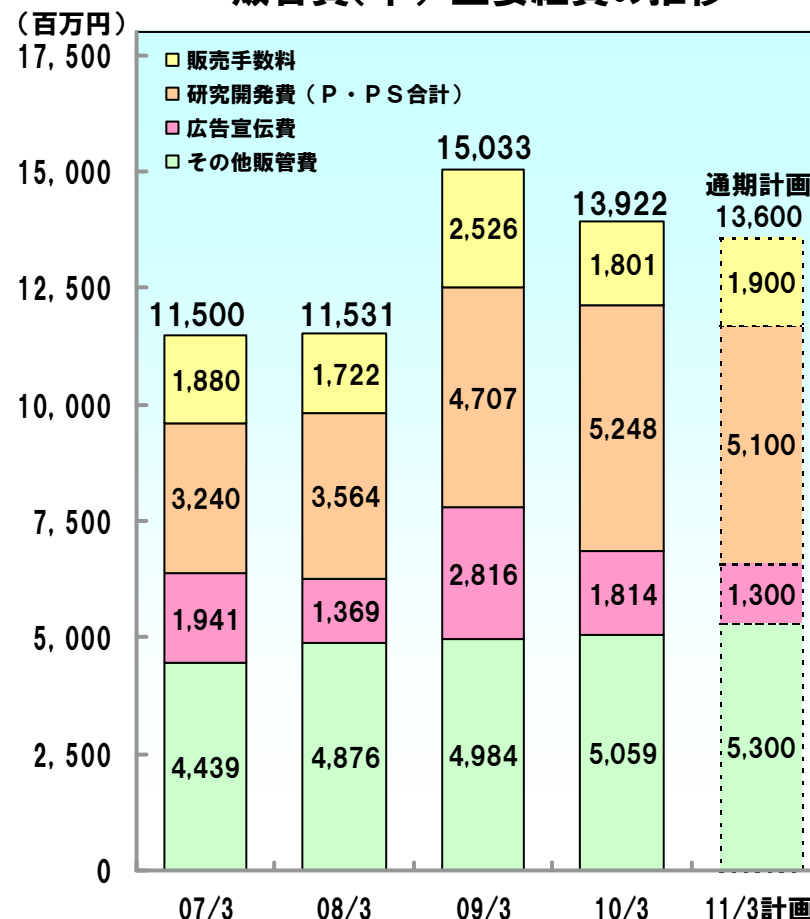


売上総利益(率)の推移



	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3計画
全社人員	358名	367名	372名	378名	391名
営業人員	186名	167名	168名	168名	173名
開発人員	100名	103名	104名	108名	113名
企画人員	一名	27名	28名	24名	25名

販管費(率)・主要経費の推移



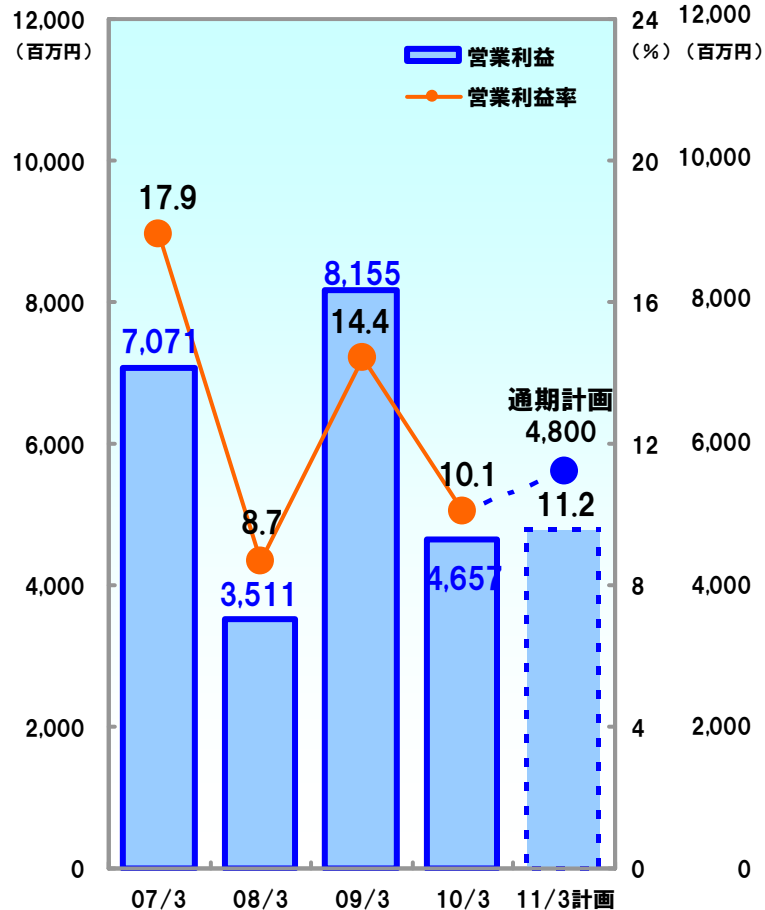
	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3計画
販管比率	29.2%	28.5%	26.5%	30.1%	31.9%
手数料率	4.8%	4.3%	4.4%	3.9%	4.4%
広告宣伝費率	4.9%	3.4%	5.0%	3.9%	3.0%
開発費率	8.2%	8.8%	8.3%	11.4%	11.9%

※各比率は、売上高に対する比率

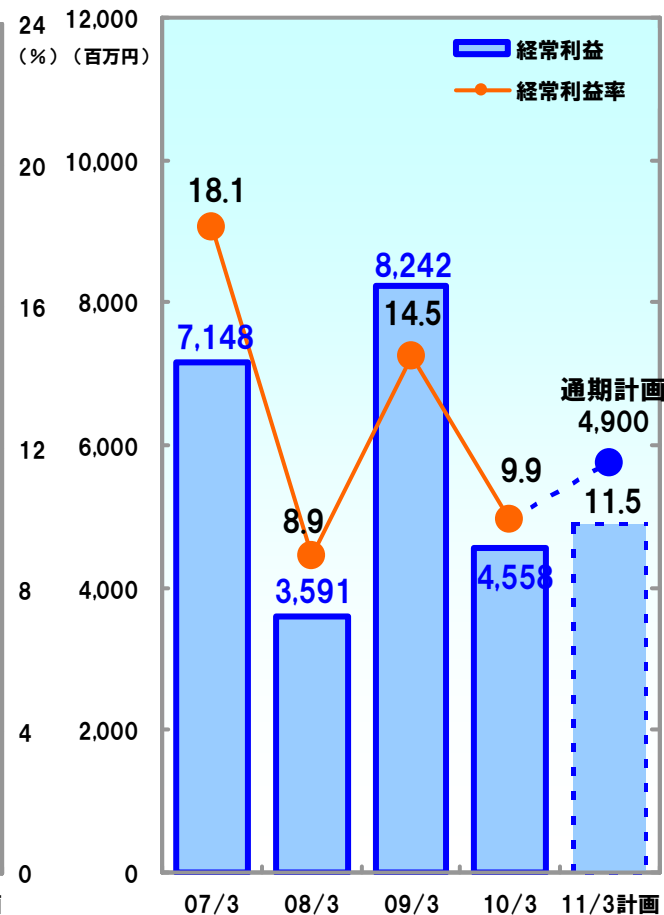
業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益



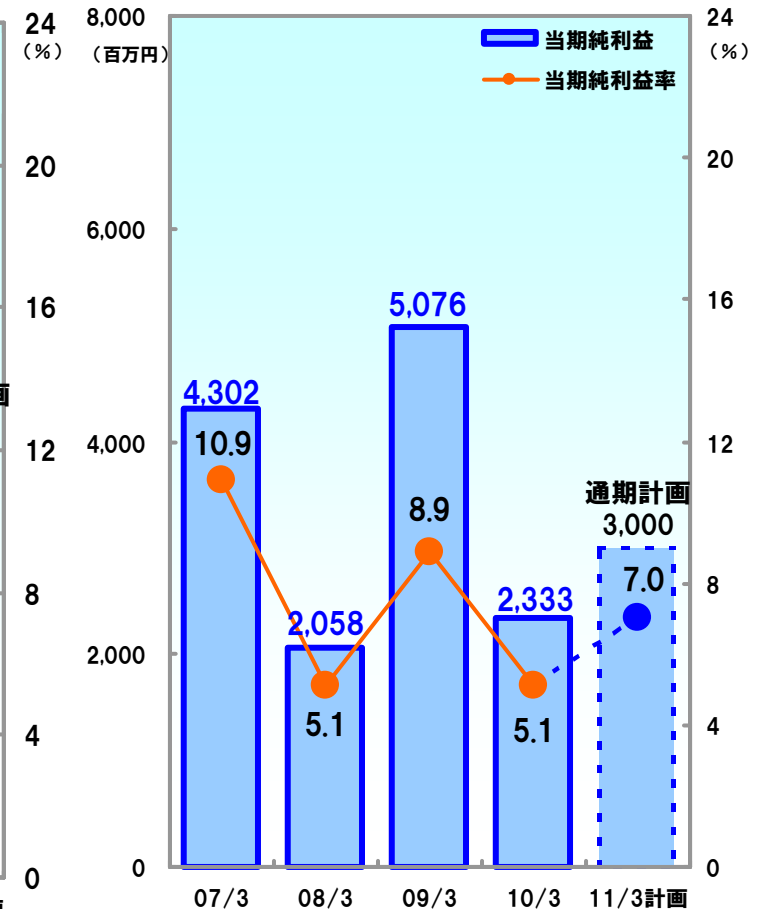
営業利益(率)の推移



経常利益(率)の推移



当期純利益(率)の推移



参考資料



本社外観

社名	株式会社 藤商事
設立	1966(昭和41)年10月
代表者名	代表取締役社長 松元 邦夫
資本金	32億8千1百万円 (2010年3月31日現在)
売上高	461億8千6百万円 (2010年3月期)
従業員数	378名 (2010年3月31日現在)
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売

主な沿革

- 1966年10月 じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月 アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年11月 パチンコ遊技機事業に参入。パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 1992年 4月 アレンジボール遊技機「アレジン」、「エキサイト」ヒット
- 2003年 9月 パチスロ遊技機事業に参入。パチスロ遊技機の生産および販売を開始
- 2003年11月 「CRサンダーバード2」パチスロ遊技機「サンダーバード3」発売
- 2004年 3月 「CR暴れん坊将軍」発売
- 2007年 2月 ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）
- 2007年11月 「CR宇宙戦艦ヤマト」発売
- 2008年 9月 「パチスロ アカギ」発売
- 2009年12月 「CR新暴れん坊将軍 吉宗危機一髪！」発売

当社遊技機の変遷



じゃん球遊技機



アレンジボール遊技機
エキサイト



パチスロ遊技機
サンダーバード3



パチンコ遊技機
CR暴れん坊将軍



パチンコ遊技機
CR宇宙戦艦ヤマト



パチスロ遊技機
パチスロ アカギ



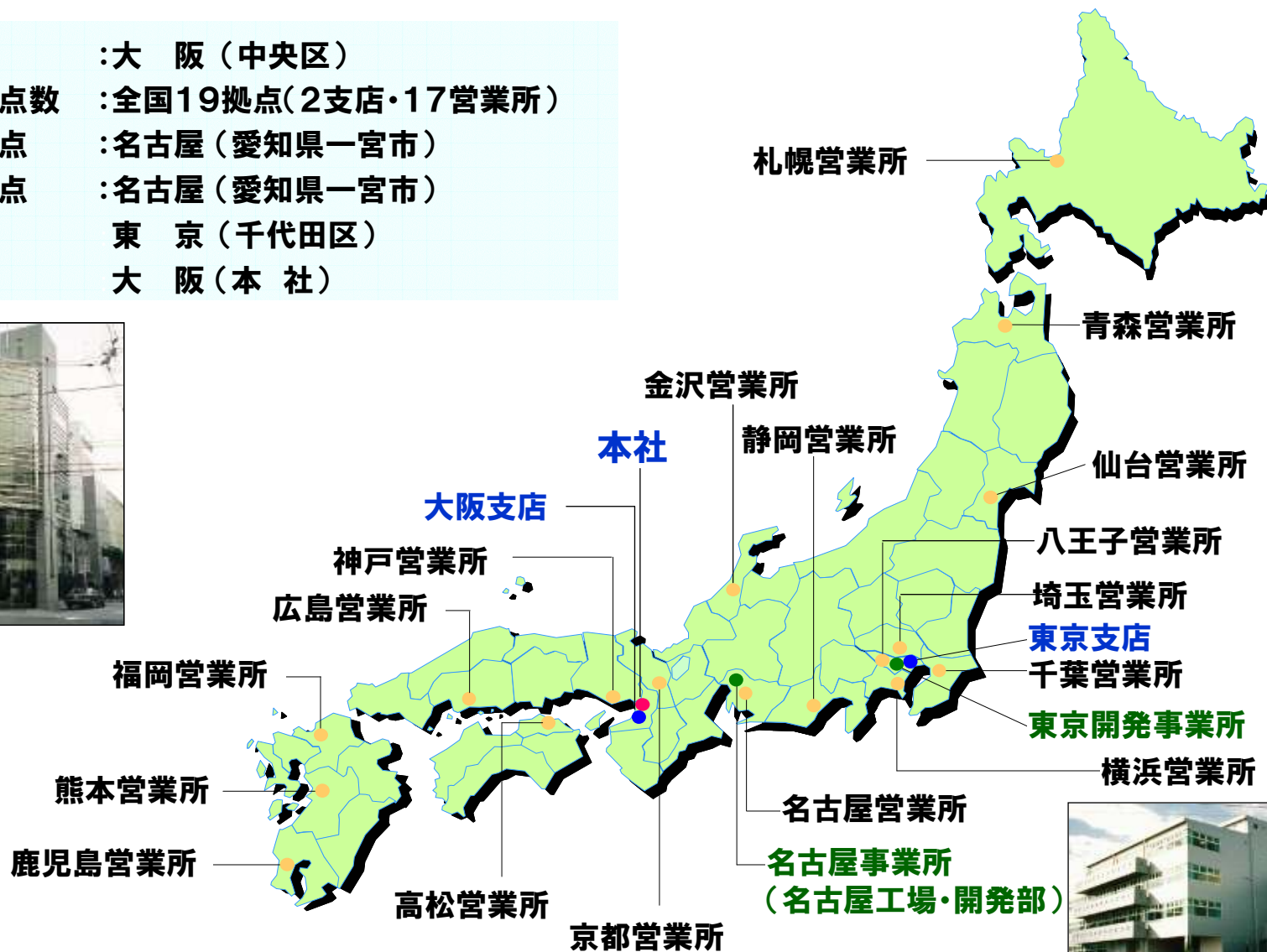
パチンコ遊技機
CR新暴れん坊将軍

地域展開の状況

本社 : 大阪(中央区)
営業拠点数 : 全国19拠点(2支店・17営業所)
製造拠点 : 名古屋(愛知県一宮市)
開発拠点 : 名古屋(愛知県一宮市)
東京(千代田区)
大阪(本社)



大阪支店



東京支店



名古屋事業所

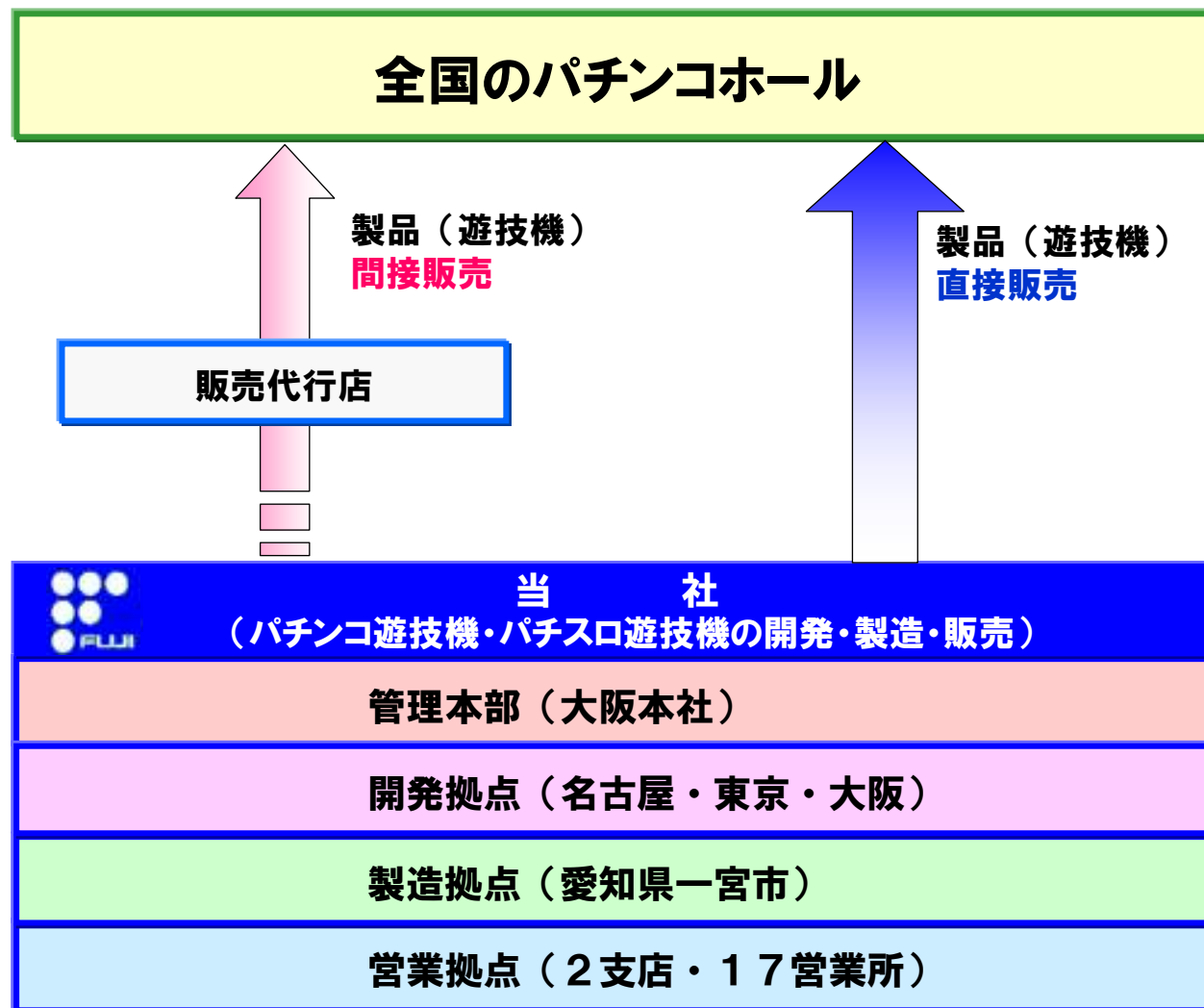


当社のコーポレートスローガン

<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、これは、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ！」と短縮し、企業ロゴに表示しております。
- 企業ロゴの左側には、藤の花とイニシャル（F）をモチーフに、円の集合体を形成しております。
これは、人間の持つ個々の特異性が融和されることによって生まれる人と人とのふれあいの大切さを表しております。

事業概要



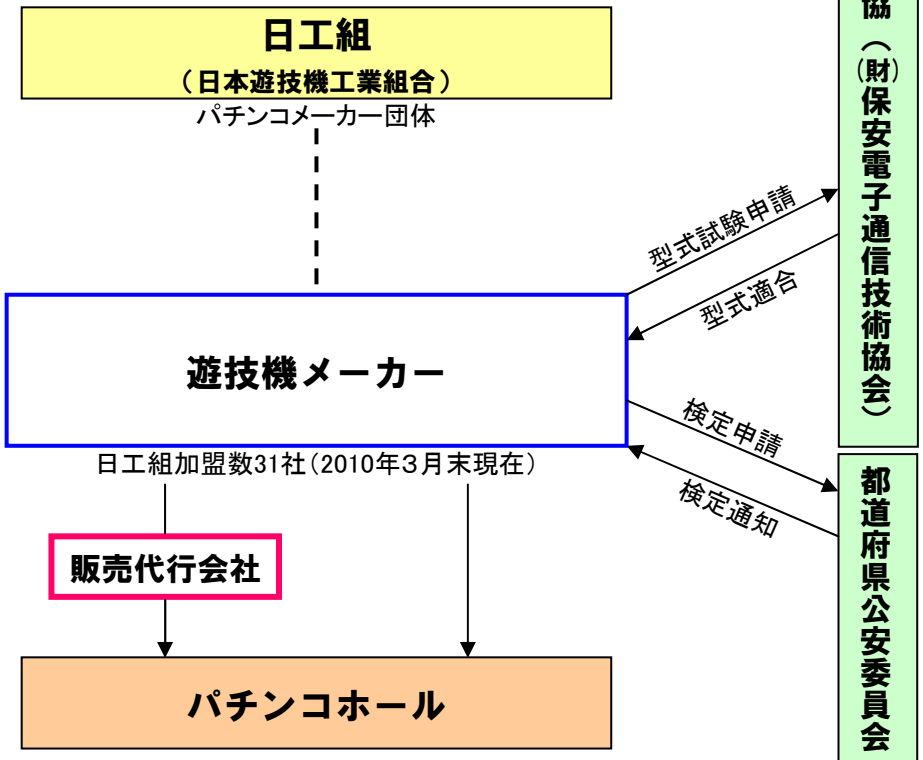
(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

<本体販売とパネル販売>



※発射装置(ハンドル)、払出装置(上皿)、チャンスボタンやスピーカーなどの外控(本体)は以前の物を使用し、盤面(パネル)のみ販売

<業界関係図>



■ お問い合わせ先

株式会社 藤商事 経営企画室

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 今後の業績については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。